

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

---

1 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書について

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会から、森林資源の循環活用や、森林・林業・木材産業の活性化を図るため、国に対し、意見書の提出をお願いしたい旨の要望書の提出があった。
- ・ 正副としては、要望書の趣旨が理解できるものであることから、当委員会から、意見書案を提出したいと考えている。事務局に意見書案を配付させる。（事務局資料配付）
- ・ 配付した意見書案を当委員会から、議長に提出したいと思うが、これに御異議ないか。（異議なし）
- ・ 条項、字句の修正については、委員長に一任願いたいと思うが、これに御異議ないか。（異議なし）

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 異議がないので、そのように確認した。
- ・ 議題終結宣言

---

2 その他

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 次にその他だが、私から1点、皆さまに御相談がある。今後、当委員会として、新たに所管事務調査を実施したいことから、6月定例会の予算特別委員会経済建設分科会の終了後に、各委員には、調査項目について提案があれば、7月末までにお知らせいただきたい旨お伝えしていた。
- ・ また、その際に、工藤委員から「魚類等の養殖に向けた取り組み」について提案があったが、分科会での質疑において、当市においては、今年度はサーモンなどの魚類のほか、高価格で取引されるウニやアワビなど新たな養殖について検討するための調査を行うこととしていることから、その調査結果を踏まえて、次年度以降に検討することとしたいとその後正副で話したところだ。各委員からは、特に提案がなかったもので、正副において案をお示ししたいと思うがよろしいか。（異議なし）
- ・ 日本を訪れる外国人が毎年増加する中、主要都市においては、インバウンド観光客で溢れんばかりであり、また、2020年には東京オリンピックを控え、さらなる外国人観光客の増加が見込まれるところである。オリンピック終了後においてもインバウンド観光業を活性化させ、日本経済の原動力として地方文化の再生や新たな雇用の創出を推進して行く必要がある。そのような中、当市においても今年度はマレーシアやシンガポールでのトッププロモーションや中国の大手旅行メディアと連携したイベントやデジタルプロモーションの実施などインバウンドのさらなる増加を図ることとしているが、現在のアジアを中心とした外国人観光客のほかに今後、欧米やイスラム圏の外国人観光客の増加に向け、当市の食や夜景などの観光資源に加えて体験型観光である「コト消費」の発掘・拡大の取り組み

を推進して行く必要があるものと考えている。

- ・ ついては、「インバウンド拡大に向けた取り組みについて」をテーマとして、「コト消費」の機会提供の状況、欧米やイスラム圏のインバウンド拡大の実施状況などといった事項を中心として調査を進めてまいりたいと考えているが、各委員、いかがか。（異議なし）
- ・ 本件の進め方については、まず、当市の現状等を捕捉できる資料を正副で調製し、それを踏まえ、課題の整理を行ってまいりたいと思うが、そのような進め方でよろしいか。（異議なし）
- ・ 本件については、委員会の閉会中継続調査事件とすることでよろしいか。（異議なし）
- ・ ただいま決定した閉会中継続調査事件については、調査の主旨、目的を踏まえた理由をもって、議長に申し出たいと思うが、これに、御異議ないか。（異議なし）
- ・ それでは、そのように確認した。その他各委員から何かあるか。

○見付 宗弥委員

- ・ 7月8日付けで、石川稜北土地地区画整理組合から、要望書が提出されていた。この事業について順調でないと聞いていたが、要望書が出たということもあるので、その組合の皆さんからお話を聞く機会が必要ではないかと考えている。正副委員長にも、説明に行った事があるんだとも聞いていたが、委員会として、一度話を聞いてみるのはどうか。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 見付委員から御提案のあった話については、委員会ではなく、非公式に機会を設けたいと思うが、それでよろしいか。

○見付 宗弥委員

- ・ 了解した。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ その他、各委員から何かあるか（なし）
- ・ 散会宣告

午前10時8分散会